

2016 年 9 月 30 日

周産期科女性診療科に、通院・入院されたことがある患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 子宮内胎児発育不全におけるヒト胎盤の、糖及びアミノ酸輸送体に関する病理学的研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

(氏名) 真嶋允人 (所属) 周産期科女性診療科 (職名) 病院助教

[研究の目的]

当院で分娩を行った患者さんの胎盤を精査し、胎盤の表面にある糖やアミノ酸の輸送体と呼ばれるたんぱく質を調べます。これらのたんぱく質と子宮内胎児発育不全との関係を明らかにすることで、子宮内胎児発育不全の病態解明を目指します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2012 年 9 月から 2017 年 9 月の間に、妊婦健診のため当院で経腹超音波検査を受けられ、その後当院にて分娩となった患者さん。

正常妊娠経過 5 例、妊娠 12 週から 37 週未満の流・早産症例 5 例、妊娠中の超音波検査で指摘された子宮内胎児発育不全症例 5 例

○利用する検体・診療情報

検体：胎盤

診療情報：診断名、年齢、身体所見、既往歴、検査結果（血液検査、細菌検査）、妊娠・分娩経過

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されたり、別の研究のために 2 次利用されたりしますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院周産期科女性診療科

担当医師 真嶋允人

電話 087-891-2174 FAX 087-891-2175